

看護職員の定年退職後の 動向調査結果

公益社団法人 愛媛県看護協会
愛媛県ナースセンター

1

調査概要

(1) 調査目的：

定年退職者の勤務実態について把握することで、就労支援を強化し、県内看護職員の確保・定着を図る。

(2) 調査対象：

県内医療機関（病院及び有床診療所）、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、訪問看護ステーション670か所

(3) 調査期間： 令和元年8月26日～令和元年9月30日

(4) 主な調査項目： ・定年制の有無、再雇用制度導入の有無、再雇用者の雇用条件・勤務状況・処遇の変化の有無、今後3年間の定年退職者の数、令和元年度の再雇用者数、他施設の定年退職者の雇用の有無

(5) 調査方法： ファックスの返送の調査(管理者による記載)

2

調査結果

回答施設数

対象施設670のうち188施設から回答があった。(回答率28%)

施設規模	回答数	調査対象施設	回答率(%)
病院400床以上	7	8	87.5
200～400未満	17	27	63
20～200未満	43	103	41.7
有床診療所	45	167	26.9
老人福祉施設	24	146	16.4
老人保健施設	20	68	29.4
訪問看護ST	32	151	21.2
計	188	670	28



3

1. 定年制の有無

179施設95.2%は定年制を実施しており、定年年齢は60歳が148施設84.1%であった。

定年制	計	%	定年の年齢	59歳	60歳	62歳	63歳	65歳	66歳	計
定年制無	9	48	有効回答数	1	148	2	5	18	2	176
定年制有	179	95.2	(%)	0.6	84.1	1.1	2.8	10.2	1.1	100
計	188	100								

※エラーを除く176施設を集計

4

2. 再雇用制度の有無

定年制有の179施設のうち175施設（97.8％）に再雇用制度があった。そのうち170施設（97.7％）が雇用条件ありとしている。

再雇用制度	有効回答数	(%)	雇用条件	有効回答数	(%)
再雇用制度有	175	97.8	雇用条件有	170	97.7
再雇用制度無	4	2.2	雇用条件無	4	2.3
計	179	100	計	174	100

※各質問毎エラーを除いた有効回答数を集計

5

再雇用制度で雇用条件有の内容

雇用条件では雇用期限と年齢制限が多かった。雇用期限は、1年毎の更新が143施設84.1%にあった。

年齢制限は、132施設77.6%にあり65歳が107施設81.7%だった。

雇用期限	有効回答数	(%)	年齢	有効回答数	(%)
1年更新	143	84.1	62歳	3	
期限無	27	1.59	63歳	1	
計	170	100	65歳	107	81.7
			66歳	1	
			70歳	16	
			75歳	1	
			制限無	1	
			年金がある	1	
			計	131	

※各質問毎エラーを除く有効回答数を集計

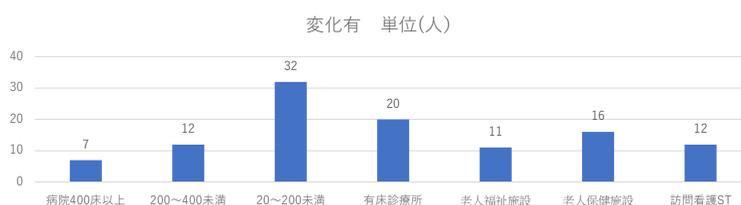
6

再雇用者勤務状況・処遇の変化の有無

- 再雇用後の勤務状況や処遇は110施設74.8%に変化があった。

	病院400 床以上	200～400 未満	20～200 未満	有床 診療所	老人福祉 施設	老人保健 施設	訪問看 護ST	総計
変化有	7	12	32	20	11	16	12	110
変化無	0	4	6	13	7	2	5	37
有効回答数	7	16	38	33	18	18	17	147

※エラーを除く147施設を集計



7

再雇用者勤務状況・処遇の変化の内容

- 給与について
 - 給与カット、ベースアップ無し、ボーナス無し、ボーナス割合減額する 等
- 勤務時間の短縮
 - 最大4日勤務、勤務時間を少なくする 等
- 心身ともに健康であり、働く意欲のある事
- 雇用形態
 - 臨時職員やパートとして、準職員扱い 等
- 年齢延長
 - 本人が望めば、健康であれば、65歳で再検討、相談に応じて等

8

3. 再雇用者の勤務状況や処遇の変化の有無（管理者・所長級と師長級）

- 勤務場所、業務内容、勤務時間、給与ともに看護管理者・所長級と看護師長級との差はみられない。
- 管理者・所長級及び師長級ともに勤務場所、業務内容、勤務時間については約66%～約68%が変化が無いとしているが、給与については管理者（97.4%）、師長（96.3%）に変化が有るとしている。

勤務場所の変化		
	管理者	師長
変化有	20	24
変化無	57	58
総計	77	82

業務内容の変化		
	管理者	師長
変化有	27	29
変化無	50	53
総計	77	82

勤務時間の変化		
	管理者	師長
変化有	26	30
変化無	51	52
総計	77	82

給与の変化		
	管理者	師長
変化有	75	79
変化無	2	3
総計	77	82

9

管理者・所長級と師長級の勤務状況や処遇の変化の内容

- 勤務場所は本人と相談の上での異動の場合は連携室や夜勤のない部署、法人内で一定の年齢で自動的に老健、訪問看護STなどへ移動するという施設もあった。
- 業務内容は役職を降り管理業務ではなく一般職員として看護部アドバイザーや患者相談担当、入退院支援、外来患者の問診などの業務に変更している。
- 勤務時間は本人と相談したうえで週4日、最大32時間、30時間勤務とほとんどの施設が時間短縮されている。
- 給与は基本給が20%、30%、40%、50%減額、初任給の日額と同等、日給制、時給制になる等回答のほとんどが減額されていた。賞与の支給は無い施設が多くあっても賞与率は下がり、寸志となったり、扶養・住居手当はない等の回答であった。

10

4. 令和元年度定年退職者数及び令和2年度再雇用予定者数 令和元年度76施設の定年退職者数171人の内105人（61.4%） となっている。

・医療圏域別再雇用率

宇摩圏域は90%で宇和島圏域は44.4%であった。

圏域名	有効回答施設数	R1定年退職者数	R2再雇用予定者数	再雇用率(%)
宇摩	5	10	9	90
新居浜・西条	12	34	18	52.9
今治	7	14	9	64.3
松山	30	70	43	61.4
八幡浜・大洲	14	25	18	72
宇和島	8	18	8	44.4
全体	76	171	105	61.4

※エラーを除く76施設を集計

11

・職位別再雇用率

管理者・師長の再雇用率はスタッフの再雇用率低い傾向にある。

職位	R1定年退職者数	R2再雇用予定者数	再雇用率(%)
スタッフ	113	74	65.5
師長	45	24	53.3
管理者	13	7	53.8
全体	171	105	61.4

※エラーを除く76施設を集計



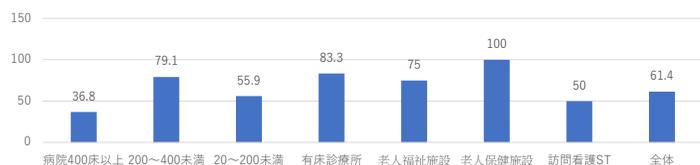
12

・施設規模別雇用率

施設規模別の再雇用率は大規模病院が低く、老人保健施設や有床診療所等小規模施設が高い。

施設規模	有効回答施設数	R1定年退職者数	R2再雇用予定者数	再雇用率(%)
病院400床以上	7	38	14	36.8
200～400未満	14	43	34	79.1
20～200未満	32	59	33	55.9
有床診療所	11	18	15	83.3
老人福祉施設	3	4	3	75
老人保健施設	3	3	3	100
訪問看護ST	6	6	3	50
全体	76	171	105	61.4

再雇用率(施設規模別) 単位(%)



※エラーを除く76施設を集計

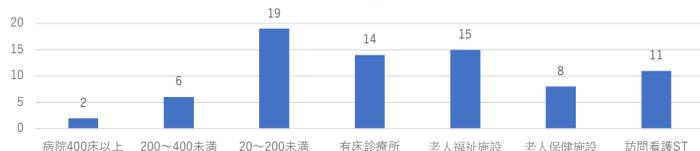
13

5.他施設定年退職者の雇用希望

「他施設の定年退職者の雇用を希望する」と回答した施設は75施設で約42.4%であった。200床以下の病院や老人福祉施設、有床診療所、訪問看護ST等が希望している。

雇用希望	病院400床以上	200～400未満	20～200未満	有床診療所	老人福祉施設	老人保健施設	訪問看護ST	計
する	2	6	19	14	15	8	11	75
しない	5	10	23	28	5	10	21	102
計	7	16	42	42	20	18	32	177

雇用を希望する



※エラーを除く177施設を集計

14

他施設の定年退職者を雇用する際の条件

- 定年退職者の雇用を希望していた75施設の内63施設（84%）は何らかの雇用条件があると回答している。採用年齢は65歳までが最も多く、70歳と回答した4施設は介護老人福祉施設であった。
- 業務内容や勤務時間など雇用条件は本人と相談の上としているがオンコール対応や夜勤が可能、土・日・祝日勤務可能等が多い。
- 訪問看護ステーションでは車の運転のできる人を求めている。

15

まとめ

- 再雇用制度は97.8%以上の施設で「ある」としており、病院・福祉施設を問わず再雇用制度を導入している。
- 再雇用率は全体では61.4%で継続雇用も定着しつつあるが看護職の不足感が強い宇和島圏域が44.4%と低い。
- 宇和島圏域の定年退職者が他施設への就業の有無は不明であるが宇和島ハローワークによると看護職の求職者は少ない傾向とのことであった。
- 宇和島地区の未就業者の掘り起こしと就業に結び付けることが課題である。
- 看護管理者・所長級及び師長級の再雇用率はスタッフの再雇用率より低い傾向にあり、看護管理者・所長級や師長級などの役職者が経験を活かした再就業は困難な状況にある。

16

まとめ

- 再雇用条件に職位の差はないが、病院と福祉施設共に管理業務は降り、給与減額となっている。病院から福祉施設へ就業する場合はさらに給与が低くなることが福祉施設への就業を困難にしていると思われる。
- 他施設での定年退職者の雇用を希望している施設は自施設で不足している夜勤やオンコール対応、休日勤務などが可能な人を求めているが、これらは定年退職者が敬遠する勤務条件でもある。
- 求人施設と求職者とのマッチングが困難な条件をいかに支援していくかが課題である。
- 今回は求人施設の管理者又は看護管理者からの回答であったが定年退職者自身からの声を聴くことも必要と考える。